

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和7年度 滋賀県がん診療連携協議会 第2回企画運営委員会																																										
開 催 期 間	令和8年3月6日（金）～3月13日（金）																																										
開 催 方 法	電子メールによる意見交換																																										
	【委員】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>足立 壯一（委員長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>富田 芳男</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>醍醐 弥太郎</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>中川 聖子</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 將公</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>堀井 久子</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>金 哲將</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>中嶋 康人</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>佐野 太一</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>藤原 政広</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>田久保 康隆</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>藤原 克徳</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>中島 研郎</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>柳川 環実</td></tr> <tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>野原 成彦</td></tr> </table> 【部会長】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山内 智香子（相談支援部会長）</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 將公（地域連携部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山本 秀和（がん登録推進部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>醍醐 弥太郎（診療支援部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>今井 晋二（研修推進部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>花木 宏治（緩和ケア推進部会）</td></tr> </table> （敬称略）	滋賀県立総合病院	足立 壯一（委員長）	滋賀県立総合病院	富田 芳男	滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎	滋賀医科大学医学部附属病院	中川 聖子	大津赤十字病院	辻 將公	大津赤十字病院	堀井 久子	公立甲賀病院	金 哲將	公立甲賀病院	中嶋 康人	彦根市立病院	佐野 太一	彦根市立病院	藤原 政広	市立長浜病院	田久保 康隆	市立長浜病院	藤原 克徳	高島市民病院	中島 研郎	高島市民病院	柳川 環実	滋賀県健康医療福祉部	野原 成彦	滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）	大津赤十字病院	辻 將公（地域連携部会長）	滋賀県立総合病院	山本 秀和（がん登録推進部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	今井 晋二（研修推進部会長）	滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会）
滋賀県立総合病院	足立 壯一（委員長）																																										
滋賀県立総合病院	富田 芳男																																										
滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎																																										
滋賀医科大学医学部附属病院	中川 聖子																																										
大津赤十字病院	辻 將公																																										
大津赤十字病院	堀井 久子																																										
公立甲賀病院	金 哲將																																										
公立甲賀病院	中嶋 康人																																										
彦根市立病院	佐野 太一																																										
彦根市立病院	藤原 政広																																										
市立長浜病院	田久保 康隆																																										
市立長浜病院	藤原 克徳																																										
高島市民病院	中島 研郎																																										
高島市民病院	柳川 環実																																										
滋賀県健康医療福祉部	野原 成彦																																										
滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）																																										
大津赤十字病院	辻 將公（地域連携部会長）																																										
滋賀県立総合病院	山本 秀和（がん登録推進部会長）																																										
滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）																																										
滋賀医科大学医学部附属病院	今井 晋二（研修推進部会長）																																										
滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会）																																										
議 事 概 要	【報告事項】 1. 令和7年度の活動報告 協議会・企画運営委員会および各部会より今年度の取組みについて報告。 （協議会・企画運営委員会） 各種会議・イベントを年間計画通りに実施することが出来た。企画運営委員会の第1回を7月にWeb会議で開催し、第2回を今週メール会議で開催した。リレーフォーライフジャパンや滋賀県がん医療フォーラムを通じて、協議会活動の周知やがん診療に関する正確で有益な情報を、県民や医療関係者へ発信出来た。最終評価Aとする。 （相談支援部会） 年間計画通り適切に実施出来た。がん患者サロンが予定通り開催できていることや、滋賀の療養情報を広めるための方法について共有し、少しずつ改善できていることを評価している。最終評価Aとする。 来年度については、PDCAチェックリスト、アクションプランシートの目標や取組を継続し、各医療機関での実施状況を確認し情報共有を行うことで、支援の充実に努めていきたい。 （地域連携部会） 近年5大がん地域連携パスの利用件数が減少傾向にあるため、要因を調査するた																																										

め、滋賀県医師会を通じてアンケート調査を実施した。結果としては、パスを知らない開業医が一定数あり、専門外・設備環境の未整備のため、協力が難しいという開業医が多かった。次年度以降は、使用件数の増加を求めるのではなく、パスの再周知と、協力していただける開業医の情報共有ができる体制の整備を行う。

地域連携部会を7月、3月に開催。5大がん地域連携パスWGを11月にハイブリット方式で開催し、滋賀県医師会へのパスに関するアンケート調査を実施した。前立腺がん地域連携パスWGを2月にメール会議で1回開催。緩和ケア地域連携パスWGを2月にメール会議にて開催。

(がん登録推進部会)

実務研修会を開催し情報を共有することが出来た。院内がん登録データを各施設でデータ公表を行った。今年度は事業計画通りに実施出来ており、今後も継続し、積極的にがん登録情報の活用と公開に努める。最終評価Aとする。

(診療支援部会)

診療支援部会の第1回を6月にWeb会議で開催し、第2回を10月にメール会議で開催した。「がん情報しが」に掲載されている「がん診療に関するトピックス」と「治療法一覧」の更新を行った。

今年度より評価指標を「がん情報しが」へのコンテンツ投稿数としており、35件の新着記事を投稿した。計画通り実施できたので、最終評価Aとする。来年度も引き続き同じ内容で評価・検討を行う予定。

(研修推進部会)

「がん情報しが」にがんに関する講演会・研修会の情報の更新、開催後の参加者数と満足度の確認を行った。がん看護研修〈基礎編〉を県内5施設で、がん看護研修〈演習編〉を県内2施設で実施した。その他独自の研修は県内5施設で実施された。

看護WGはメール会議を2回実施。

「がん情報しが」に、医療圏別、開催方法別で、各団体の取組予定についての情報共有を行った。今年度は参加人数、満足度の報告の徹底のため、情報提供依頼の内容を工夫した。計画通り実施できたので、最終評価Aとする。来年度の引き続き同じ内容で評価・検討を行う予定。

(緩和ケア推進部会)

部会を3回、緩和ケア研修会を9回、世界ホスピス緩和ケアデー県民公開講座、E L N E C - J 研修会を計画通り実施した。緩和ケア研修会については、若干昨年度よりも参加者数が減少しているため、参加者数の増加のために引き続き取り組んでいく。最終評価Aとする。

2. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025滋賀医科大学について

- ・イベント実行委員会は滋賀県下の学生を中心に組織されており、がん啓発活動や募金活動を行っている。1年に1度、その集大成として24時間歩いて夜を越すリレーウォークイベントを開催。

- ・今年度は10月11日(土)12日(日)に開催され、協議会としてもがん相談ブースの出展を行った。

- ・出展ブースでは各種がんパンフレットや「滋賀の療養情報」等のパンフレットを準備し、来場者の方へがんに関する情報発信を行った。また、相談支援部会協力のもと、相談コーナーを設置し、多くの来場者と交流を行った。

- ・イベント全体の参加者数は434名。チャリティーイベントのため、イベントを通して集まった128万円が日本対がん協会へ寄付された。

3. 第17回滋賀県がん医療フォーラムについて

- ・2月23日(月)に栗東芸術文化会館さきらにて開催。基調講演をがん研有明病院の清水

	研先生、講演を3回血液型が変わった講師、奥野七夢さん、特別講演をタレントの原千晶さんに講演いただいた。 ・広報について、今回は新聞折り込みチラシ6万部、ローソン、イオン各店舗へのチラシ設置、そのほかに県が提携を結んでいる日本生命の営業担当者による取引先へのチラシ配布などを行った。 ・アンケート結果について、回収は178件。参加者の居住地は、開催場所が栗東市ということもあり、近隣の大津市、草津市、守山市からの割合が高くなった。遠方からの来場もあり、滋賀県外は10件あった。『来場者の年代』としては50代、60代、70代が多く、AYA世代の講演の効果もあったのか、20代が3件あり、19歳以下では小学生の患者さんが奥野さんの講演を家族で聞きに来られた。『講演会を知った媒体』については、各病院のチラシ・ポスターや新聞折り込みを見て来場された方が過半数を占めたが、知り合い・医療関係者・職場からの紹介が根強く、口コミの強さを実感する結果となった。今回も、滋賀県がん患者団体の菊井会長に集客のご尽力をいただき、患者会からの紹介、あけぼの会のパンフレットと記載されている方が複数おられた。 ・アンケート全体を通して、「経験談を聞けて参考になった」「前向きになれた」「元気を貰えた」という旨のポジティブな意見が多くあった。 ・いただいたご意見（市立長浜病院・藤原様より） 非常に良かった。参加された方の感想や意見も良い意見ばかりで、参加されれば必ず「良かった」となるのではないかな。もっと広報活動等のアピールを行っても良いのでは。
--	---

以上のとおり報告します。

令和8年 3月 日
企画運営委員会 委員長 足立 壮一